

科目区分	専門教育科目	科目名	解剖生理学実習		科目コード	21S380	担当者	井上 靖久			
対象学生	生活創造学科 栄養士コース 2年生	学期区分	前期		単位数	1	担当形態	単独			
		授業形態	実習								
科目		施行規則に定める科目区分又は事項等				卒業要件	選択				
						免許・資格要件	栄養士必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
人体の構造と機能の基礎を理解し、両者が相関してヒトの生命活動を保証していることを実感する。						1. 「 尽心 」 誠実な人柄と 人間力	2. 「 創造 」 高度な知性と 創造力	3. 「 実践 」 明確な意思と 実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 思考力・創造断力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	解剖生理学の講義で学んだことを実習の中で、自分自身の「人体」に照らして実感する。										
2.	人体はその時々の変化に対応して変化・適応していることを理解する。										
3.	実験・実習の結果を理解して、論理的に説明できる。										
4.								○	◎		
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						提出物（90%） 発表内容（10%）					
3グループに分けて、同時並行的に行うので、説明は3回分まとめて行う。毎回、前回のレポートを提出する。最後にワークショップ形式の口頭発表を全員で行う。											
課題等への対応						授業外学修時間					
毎回レポートの提出を求める。コメントを付けて返却する。						予習30分、復習1時間					
回数	授業計画					学習課題（予習・復習）					
第1回	全体の説明、神経・解剖系の概説					各回の準備を前もって確認することで復習とする					
第2回	3～5回の説明					毎回の説明は行わないので、必ず実験内容を把握してくる					
第3回	組織標本観察					当該実験のレポート作成					
第4回	人体の形態計測、人体解剖ビデオ観察					当該実験のレポート作成					
第5回	骨格標本、内臓標本観察					当該実験のレポート作成					
第6回	7～9回の説明					毎回の説明は行わないので、必ず実験内容を把握してくる					
第7回	心拍数・心音・心電図					当該実験のレポート作成					
第8回	呼吸機能					当該実験のレポート作成					
第9回	血圧					当該実験のレポート作成					
第10回	11～13回の説明					毎回の説明は行わないので、必ず実験内容を把握してくる					
第11回	体温					当該実験のレポート作成					
第12回	発汗					当該実験のレポート作成					
第13回	細胞観察					当該実験のレポート作成					
第14回	ワークショップの準備					データの各班からの収集					
第15回	ワークショップ					発表準備					
試験	定期試験を実施しない										
教科書	「人体の構造と機能①解剖生理学」 ナーシンググラフィカ最新版 メディカ出版					受講生への メッセージ	健康や疾患について日常的に、論理的に考える習慣をつけることを目指してください。				
参考書等	なし										